

原子力小委員会 委員長 安井 至様

公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
常任顧問 辰巳菊子

3月6日に開催される第16回原子力小委員会に出席することができませんので、意見書を提出します。どうぞよろしくお願いいたします。

第16回原子力小委員会 意見書

議題1の「核燃料サイクル・最終処分に向けた取り組み」について

エネルギー基本計画（平成26年4月）の第5章では国民各層とのコミュニケーションとエネルギーに関する理解の深化というタイトルで、エネルギー事情の全体像を誰もが理解できるような、情報提供の在り方等、多様な情報提供の体制を確立すると書かれています。

しかし、今回の「核燃料サイクル・最終処分」特に難解な「核燃料サイクル政策」について、どれだけの国民が正しい状況を理解しているのか、つまり、正しく理解できるように国と電力会社は国民に説明をしているのか大いに疑問があります。

したがって、原子力政策の中でも大きな課題のある「核燃料サイクル政策」については、まずは、エネ基にも記載されているように、『客観性を高め、「国民目線」でより適切な情報提供を行えるよう第三者による助言を得ながら取り組みを進めていくために、民間有識者から構成されるアドバイザリーボードを活用する』などして、ぜひ国民的議論ができるような情報提供の体制を構築されますことをお願いいたします。

続いて、核燃料サイクル・最終処分につきまして、以下の4点よろしくご説明をお願いいたします。

1. 原子力発電所で過去より今までに使われた使用済み燃料（核廃棄物）の廃棄後の流れが全く見えません。福島原発の事故後、使用済み核燃料はサイト内で保管されていることを多くの方は知りました。貯まり続ける核廃棄物がリサイクルされると聞けば、耳には優しく聞こえますが、その真実を説明してください。多くの国民は最終処分量の削減、資源の有効利用等からのリサイクルの重要性については理解できます。しかし、再処理をすれば、処理困難な高レベル放射性廃棄物が残る上に、最終処分をしなければならぬ放射性廃棄物の量が何倍にも増えるとのことで、理解に苦しみます。

2. 青森にある再処理工場が 25 年経った今もいまだに稼働出来ずにあります。日本ではまだ再処理ができないはずなのに、いくつかの発電所では再処理をした燃料を使ったプルサーマルが行われ、再稼働に伴い今後プルサーマルはもっと増えるようです。実際には MOX 燃料はそこの実、多大なコストを掛けて英仏の再処理工場に頼っているという事実についての説明が不十分です。また、使用済み MOX 燃料の再処理についての説明も不足しています。
3. 核燃料サイクルは破綻していると多くの知識人が公言している中、核燃料サイクルを進めなければならない、国民が納得できる事情を丁寧に説明してください。今回の資料は核燃料サイクル政策ありきからの説明でした。核燃料サイクルを進めるのか止めるのかの議論はこの小委員会が適切な場であると思います。少なくとも、議論は必要です。
4. 使用済み核廃棄物は原発を稼働すると増え続けます。立地自治体に対し、使用済み核燃料の敷地内プールでの冷却保管は一時的であり、核廃棄物は立地自治体には残らないと電力会社は約束してきています。資料 17 頁からは、冷却保管のプールが満杯に近づいているところもあるということがわかります。使用済み核燃料の処理問題とともに、その処分場が決まらない高レベル放射性廃棄物やその他の放射性廃棄物など、原子力発電の一生には持続可能性の観点からも重たい課題が山積しています。これら山積する問題を先送りしての原子力発電の再稼働には、多くの人が納得できないとしています。
5. 核燃料サイクルや最終処分などに関わるコストは他の原子力関連のコストと同様に国民の電気料金で負担しているはずですが、再エネ賦課金のように、明示的に見えません。電力自由化で電源の選択が可能となっています。原子力発電を選択したくない人にどのようにこのコストの負担を説明するのか、重要な問題です。

国民が何を信頼し、選択するのかを誰も誘導はできませんが、まずは「原子力発電の一生を考えてみよう」と語りかけることはできます。何がわからなくて、何を知りたいのかを根気よくコミュニケーションしなければならないと思います。国民目線の客観性の高い情報提供ができる先述した体制を作るための制度あるいは政策を早急に検討されることを期待します。

最後に、東京電力福島第 1 原子力発電所の汚染水問題や廃炉問題も含み、放射性廃棄物の処理については、国民にとって非常に関心が高い問題です。今回のような原子力発電のバックエンドの課題を検討する時に、切り離してしまっていていいわけがありません。今後も起こりうる事故の場合の廃棄物に関しても、どのように取り込むのか一緒に考えていくべきではないかと思います。

以上です。